

た。外に出て見ると、街の夜景がとてきれいで、まるで別の世界にいるようでした。それまでは、こうふんしてねることはできませんでしたが、その後、約二時間ぐらいねおりました。

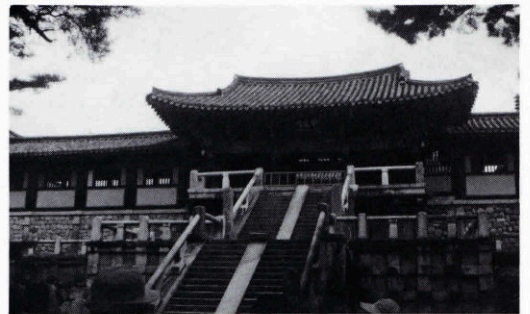
入国検査をすませて、いよいよかん国での見学地訪問が始まりました。印象に残っているのは、朝鮮戦争でたおれた二十一ヶ国の兵士がねむる国連墓地でした。春の修学旅行で見た広島原爆く記念資料館にあったこわい写真が、頭の中にかびました。人間が武器を持ちおたがい殺し合う戦争は、二度と起こしてはいけないと思えました。平和のとうとさを感じ、世界の人々が仲良く助け合っていることがだいじだと思えました。そのほか仏国寺、国立博物館などを見学してまわりました。



が、ぼくの考えていたかん国とはまったくちがっていました。大きなビルが立ちならび、広い高速道路があり、スケールの大きな遊園地などがあり、近代化された様子を見ておどろきました。

一番楽しみにしていた『日・かん青少年大交流会』に出席しました。最初は、言葉が通じないので不安に思いましたが、会場に入ると見ると、そんなこともわすれてしまいました。かん国の友達は、ぼくたちを、大きなはく手で迎えてくれました。また、みんなとても親切で、はずかしがるぼくたちに、あく手をしてやり、見ぶり手ぶりで話しかけてくれました。言葉は通じないけど、心は一つになって、ゲームをしたりおどりをおどったり、楽しい時間があつという間にすぎていきました。ここで感じたことは、言葉は通じなくても、心は通じる、だけれども友達になれるのだなと思えました。

ぼくは、この旅行に参加し多くの友達と知り合うことができました。また、おとなりの国、かん国を自分の目で見てくることができました。小学校生活最後の夏休みに、貴重な体けんをすることができて良かったと思います。



TYSS少年の船に乗って

川尻小六年
花藤陽介

ぼくが、この船に乗って感じたことは、外国の生活や歴史を自分の目で見ることででき、外国の人と話をするチャンスがもてたことです。

最初は、韓国で遊べることに、とてもうれしく思っていました。でも、二十日に見学した墓で、みんなの態度を見てから、真剣に見学していかなければならぬということになりました。そう考えて見学していくと、今まで、見えなかつたり、聞こえなかつたりしたことが見えたり、聞こえたりしてきました。

ぼくがおどろいたことは、ロッテワールドです。今まで、韓国の建物について考えていたイメージは、古っぽい家が建っていて交通量も少ないだろうということでした。でも、ロッテワールドは、大きな建物の中にお城がそびえています。ぼくは、そこで、ジェットコースターに乗った時は、ドキドキしたけどおもしろかったです。急降下はとてもスリルがあつたし、トンネルの中は真っ暗だったので、となりにおられた広田先生が、

「頭がぶつかる。」と、言いながらぬけました。五百四十度の水平回転もおもしろかったです。終つてから広田先生が

「こわかった。」と言つておられました。このような遊園地は、日本には、ありません。韓国の建物のすばらしいところです。自分の目で真剣に見ないとこんなことは感じないと思えます。

次に、韓国の人に気持ちを伝えるために、絵の交換をしました。言葉の通じない友だちにジェスチャーなどをやって気持ちを伝えることが大切だと思えました。しかし、その時、韓国の人達とはなれていたので、直接に話す事ができ

ませんでした。ざんねんと言う気持ちと、助かつたと言う気持ちが、心に残りました。今度、同じようなことがあつたら積極的に話しかけていこうと思えます。

その他に、色々な小学校の友達ことができました。特に班長の阿部君と友達になりました。色々遊んだり、話したりしました。部屋の中でトランプをしたり、花札をしたりしま

きました。ざんねんと言う気持ちと、助かつたと言う気持ちが、心に残りました。今度、同じようなことがあつたら積極的に話しかけていこうと思えます。

最後に、この韓国旅行で学んだことを生かし勉強にげみたいと思えました。



最後に、この韓国旅行で学んだことを生かし勉強にげみたいと思えました。